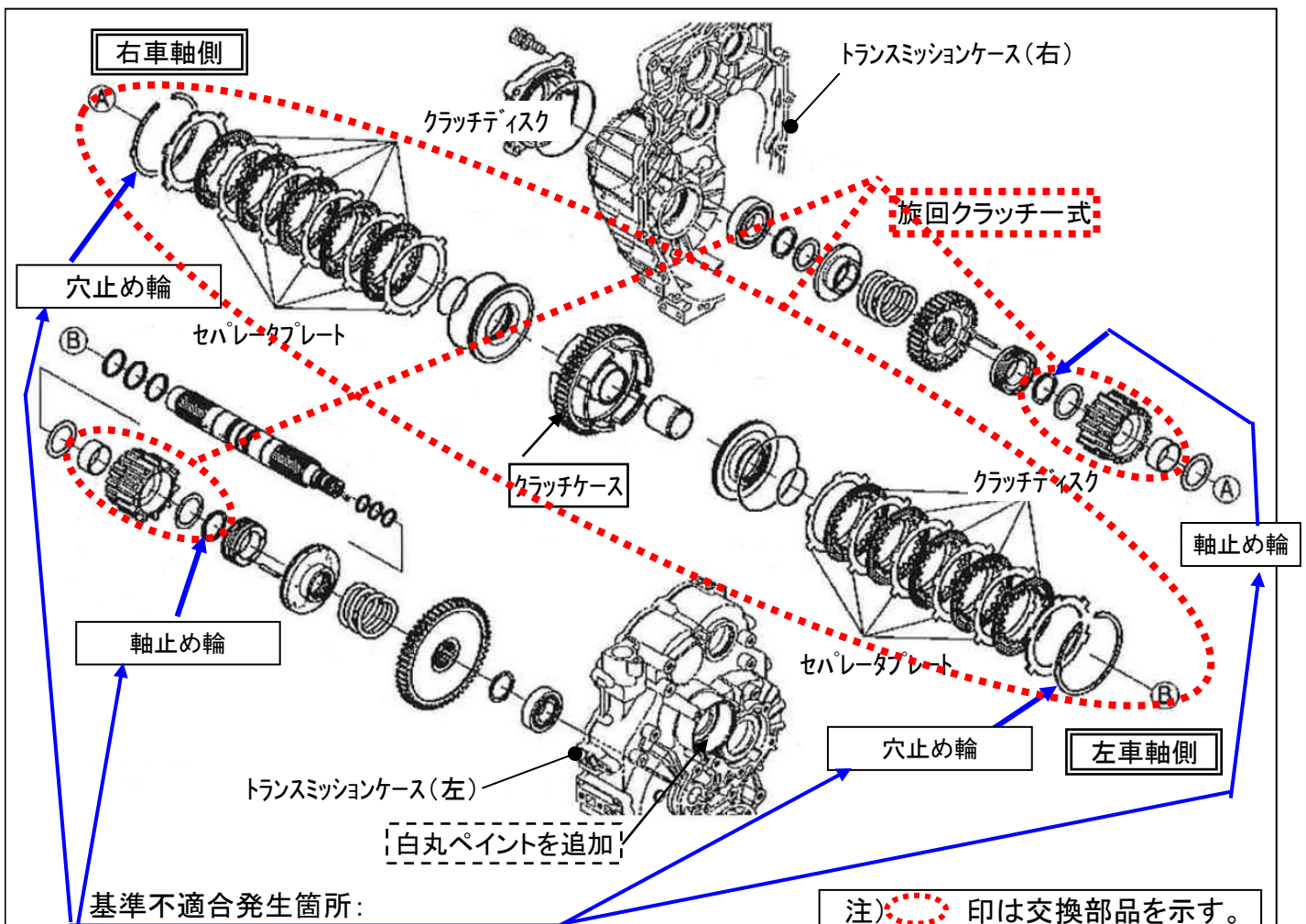


改善箇所説明図



刈取脱穀作業車において、左右の車軸回転数に差をつけることで緩旋回を行うために動力伝達の入り切りを行う旋回クラッチの穴止め輪及び軸止め輪の強度が不足しているため、旋回クラッチが作動する応力によって、穴止め輪、軸止め輪が破損することがある。そのため、動力を伝達できず、旋回不能となるおそれがある。

改善の内容:

全車両、旋回クラッチ式を対策品に交換する。

識別:

旋回クラッチ式交換後、TM左側面(駐車ブレーキケース)に白ペイントする。